

令和8(2026)年度

南和広域医療企業団南奈良看護専門学校

【公募推薦B・社会人】入学試験問題

国 語

注意事項

- 1 試験監督の指示があるまで問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、問題1から問題19までです。試験時間は、50分です。
- 3 問題冊子、解答用紙には必ず受験番号と氏名を記入し、解答用紙の受験番号欄には正確にマークしてください。
- 4 解答は、①～⑤の選択肢から正解を一つ選び、解答用紙の該当する番号をマークしてください。二つ以上マークした場合には誤りとなります。
- 5 マークは、解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように丁寧に塗りつぶしてください。
- 6 試験中に問題の落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて試験監督に知らせてください。
- 7 問題冊子と解答用紙は回収します。室外への持ち出しは禁止します。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(問題は次のページから始まる)

第1問 次の各問いに答えよ。

問題1 次の傍線部に示す漢字の読み方が正しいものをそれぞれ一つ選択せよ。

- (1) ① 盤石(ばんじゃく)の守りで競り勝つ。
② 財政が破綻(はじょう)する。
③ 貸し借りを相殺(そうさつ)する。
④ 壮大(しょうだい)な景色に圧倒される。
⑤ 工事の進捗(しんぱ)状況を記録する。

- (2) ① 貧相(ひんしょう)な装いで姿を見せる。
② 地道(ちみち)な努力が実を結ぶ。
③ 彼女は恩師の逝去(せつきよ)を悼んだ。
④ この問題については、早急(さつきゅう)な対応が必要だ。
⑤ その演説は、彼の悪いイメージを払拭(ふっせき)した。

問題2 次の傍線部の漢字が正しいものをそれぞれ一つ選択せよ。

- (1) ① 豪雨のため不要普及(ふきゅう)の外出を控える。
② 無我夢中(むがむちゅう)で走り抜ける。
③ 被災者のために人肌(ひとはだ)脱ぐ。
④ 注射の服作用(ふくさよう)で高熱が出る。
⑤ 議案は参成(さんせい)多数で可決された。

- (2)
- ① 社長の**独断先行**(どくだんせんこう)が目_レに余る。
 - ② **派出**(はで)な装いでひとときわ目立つ。
 - ③ 無人島に**難波船**(なんばせん)が現れる。
 - ④ **浮動票**(ふどうひょう)が選挙のカギを握る。
 - ⑤ 冒頭の記事が**重復**(ちようふく)する。

問題3 次の傍線部と同じ漢字を使うものをそれぞれ一つ選択せよ。

(1) 手厚い**看**ビヨウを受ける。

- ① 種**ビ**ヨウ栽培に力を入れる。
- ② 時計の**ビ**ヨウ針を合わせる。
- ③ 社会の男女**ビ**ヨウ等を進める。
- ④ 繊細な**ビ**ヨウ写が胸を打つ。
- ⑤ 彼は臆**ビ**ヨウな性格だ。

(2) **ボ**記検定試験に挑戦する。

- ① 恩師にお歳**ボ**を贈る。
- ② アルバイトを**ボ**集する。
- ③ 会社の規**ボ**が拡大する。
- ④ 名**ボ**順に名前を呼ぶ。
- ⑤ 自らの発言で**ボ**穴を掘る。

問題4 次の言葉の意味として最も適当なものをそれぞれ一つ選択せよ。

(1) 面従腹背

- ① 相手のご機嫌をとり、気に入られるためにこびへつらい、従うこと。
- ② 落ち着き払って、あわてないこと。
- ③ 素直に聴き従うこと。性格が穏やかで、素直なこと。
- ④ 表面的にはこびへつらうように見せて、内心では反抗していること。
- ⑤ 前方と後方とから敵に攻められること。

(2) ほぞをかむ。

- ① 今さらどうにもならないことを、ひどく後悔すること。
- ② あきれ果てて、まったく好意を持たなくなること。
- ③ はっきりと言わず、曖昧なままにすること。
- ④ 胸がむかついてくるほど不快であること。
- ⑤ 驚きあきれしまい、何もものを言うことができないこと。

(3) 板に付く。

- ① 特に理由はないが、事が起きる前に何となく感じること。
- ② 聞いたことがいつまでも忘れられないこと。
- ③ 職業や服装、態度などがその人にしっくり合うこと。
- ④ 勝てそうもなかった勝負などに、運よく勝利すること。
- ⑤ うっとうしく感じられて、うんざりする事。

問題5 次の意味を表す言葉として最も適当なものをそれぞれ一つ選択せよ。

(1) 物事を完成するとき、最後に付け加える肝心な部分のこと。

- ① 肝胆相照
- ② 一气呵成
- ③ 有為転変
- ④ 画竜点睛
- ⑤ 起承転結

(2) 素っ気ない態度で応じる。

- ① 目から鼻へ抜ける。
- ② 目鼻が付く。
- ③ 鼻に掛ける。
- ④ 木で鼻を括る。
- ⑤ 鼻を明かす。

問題6 次のうち、「順次」と同じ意味を持つ語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 野次
- ② 逐次
- ③ 累次
- ④ 毎次
- ⑤ 漸次

問題7 次のうち、「推進」と反対の意味を持つ語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 消費
- ② 簡素
- ③ 抑制
- ④ 過失
- ⑤ 皆無

問題8 次のうち傍線部の言葉の用法が正しいものを一つ選択せよ。

- ① 彼女の発言は火に油を注ぐようなものだ。
- ② 自慢ばかりする後輩の鼻をくじく。
- ③ 新入社員ではまだ上も下もわからないだろう。
- ④ 先方の振る舞いは肝に据えかねる。
- ⑤ 失敗した前任者の二の舞を繰り返すことは避けたい。

問題9 次の記述に当てはまる人物の名前として正しいものを一つ選択せよ。

この人物は、明治四十二年（1909年）青森県生まれの小説家である。裕福な家庭に育ちながら、若くして思想的葛藤に苦しみ、薬物依存や自殺未遂を繰り返した。昭和十一年に文学活動を開始し、鋭い語り口と自虐的・道化的精神を通じて人間の偽善を告発する作品を発表した。井伏鱒二の支えを受けながら中期には安定した創作期を迎えたが、戦後は無頼派文学の旗手として再び退廃的傾向を深め、昭和二十三年に入水死を遂げた。主な作品として「津軽」や「斜陽」などがある。

- ① 芥川龍之介
- ② 川端康成
- ③ 太宰治
- ④ 三島由紀夫
- ⑤ 宮沢賢治

第2問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

私がヴォルテールの『哲学辞書』を買ったのは、たしか大黒屋という本屋であったと思う。これは京都ホテルの前にあった洋書屋で、ホテルに
来る外人が主な客であつたらしいが、現在はなくなつてしまつたようだ。京都で洋書を買つていたのは丸善とここの二軒であつたので、私は学
生時代に折々出掛けて行つたが、ある時この本を見出したのである。初めそれを手に取つたとき、ヴォルテールと哲学辞書とがうまく結びつ
かなかつた。ヴォルテールが辞書を編纂するような人と考えられなかつたし、その内容も一見普通の辞書のようにではなかつたので、当時フランス
のものについて知識の極めて貧弱であつた私は、実は、半信半疑であつたのだが、ともかくフランマリオンの叢書(注1)であるから、信用して買つ
て帰つた。今思い出して恥ずかしい次第である。A

その時分フランス語があまり読めなかつた私は、語学の勉強のつもりで、字引を頼りに永い間かかつてこの本を一通り読んでみた。それからで
ある、辞書についての私の観念が変わつたのは。それまで辞書といへば、言葉の意味が分からない時に引くもので、その記述は客観的で筆者
の私見など加えられるべきものではないと考えていた。ヴォルテールの哲学辞書はこれとはまるで反対のものであつたのである。項目は彼の立場
から極めて主観的に選択され、それについて自分の哲学的見解が甚だ自由に述べられている。その後東京に住むようになってから、ある時、京都
へ行つたついでに丸善へ寄つたら、この本の英訳書があつたのも、何か妙な縁であるように思われた。B

辞書は引くもので、読むものではないというのが通念であらう。(ウ) 私は今、この考え方を改めて、辞書は読み物であり、しかも恐らく最上
の読み物の一つであると思つている。仕事に疲れた時、無聊(注2)に苦しむ時、辞書を読むのは、なかなか楽しいものである。C

読み物として面白いのは、言うまでもなく、筆者の見解を自由に書いた主観的な辞書である。私は辞書の歴史について詳しいことは知らない
が、現代の辞書は、客観性を目指して発展して来たようである。これは辞書としては確かに進歩であるに相違ない。その記述の仕方も辞書的
といつた一種の型が出来て、正確とか簡潔とかを目的としている。だがその代わりに最近の辞書は一般に乾燥無味になつた。これは便利であるに
しても、深味はなく、個性にも乏しいのである。学問的に見ても、この頃の辞書は研究的であるよりも、学界の通念を要約して述べるということ
が主となつていようである。かような辞書が必要であることは言うまでもなからう。D

しかしこの種の客観的な辞書の必要は教科書の必要とほぼ同じである。自分が専門にやつていゝ学科については、辞書というものは案外役に立
たないのではないかと思う。他の方面については、辞書はなるほど有益ではあるが、それは自分がそれについて知らないからである。辞書によつ
てものを知らうとしても、客観的な辞書というものは、だいいち面白く読めない。即座の必要には間に合うが、永く続けて読ませるものではな
い。客観的であろうとする辞書は何よりもまず正確でなければならぬが、辞書の正確といふこともなかなか問題である。新聞の記事は、こ
と、自分に關する限り、たいていどこか間違つていゝものであるが、それが他人のことになると、ことごとく正確であるかのような錯覚を起こさ
せる。辞書もまた同様の錯覚を起こさせやすい性質をもつていゝのである。E

問題11 傍線部（ア）「ヴォルテールと哲学辞書とがうまく結びつかなかった」とあるが、これは当時の筆者のどのような認識に基づくものか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① ヴォルテールは哲学者であると同時に、辞書編纂者としても著名であった。
- ② ヴォルテールは哲学に関する著作が多く、辞書とは無縁の人物であると思われていた。
- ③ ヴォルテールは哲学者として知られていたが、辞書を編纂するイメージは筆者にはなかった。
- ④ ヴォルテールは辞書の内容について深い知識を持っていたが、それを編纂するとは思われていなかった。
- ⑤ ヴォルテールは哲学的な思想を持っていたが、それを本の形で表現するとは考えていなかった。

問題12 傍線部（イ）「辞書についての私の観念が変わった」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 辞書が非常に客観的なものであることを知ったから。
- ② 辞書が非常に主観的なものであることを知ったから。
- ③ ヴォルテールの哲学的見解に共感したから。
- ④ 辞書が多くの学説を網羅していることを知ったから。
- ⑤ 辞書が筆者の専門分野に関する内容を多く含んでいたから。

問題13 空所（ウ）に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① だから
- ② だが
- ③ もし
- ④ さて
- ⑤ さらに

問題14 傍線部(エ)「現代の辞書は、客観性を目指して発展して来たようである」とあるが、筆者はこのような辞書の発展をどのように評価しているか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 客観性を追求したことで、辞書の信頼性や正確性が向上したと絶賛している。
- ② 客観性を重視するあまり、辞書が乾燥無味になり、個性が失われたと批判している。
- ③ 客観的な辞書は学術研究に不可欠であり、学問の発展に貢献していると評価している。
- ④ 客観的な辞書は教科書と同じで、専門分野の知識を得るには不十分であると批判している。
- ⑤ 客観的な辞書の必要性は認めておらず、主観的な辞書の方が読み物として面白いと述べている。

問題15 傍線部(オ)「辞書の正確ということもなかなか問題である」とあるが、筆者はどのような点に問題があると考えているのか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 辞書は多くの人の手に経るため、どうしても誤りが生じやすいこと。
- ② 辞書は客観性を装っているが、実際には筆者の主観が混入していること。
- ③ 辞書は言葉の意味を固定化してしまうため、言葉の流動性を阻害する恐れがあること。
- ④ 辞書は学説を要約しているに過ぎず、真の学術的な探求がなされていないこと。
- ⑤ 辞書は自分に関することになると不正確な情報が掲載されていることがあること。

問題16 傍線部(カ)「辞書の客観性ということは一見簡単な事柄のようで、実は複雑な問題」とあるが、これはなぜか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 辞書の客観性は、語学や自然科学の分野では比較的容易に確立できるが、社会科学や哲学の分野では困難だから。
- ② 辞書の客観性は、多数の執筆者によって分担執筆される場合には維持しやすいが、一人の人間によって書かれる場合には困難だから。
- ③ 辞書の客観性は、読者にとって有益な情報を提供するためには不可欠だが、筆者の個性を反映させるためには障害になるから。
- ④ 辞書の客観性は、学問的な厳密さを追求する上では重要だが、読み物としての面白さを追求する上では不要だから。
- ⑤ 辞書の客観性は、言葉の意味を正確に伝えるためには必要だが、言葉の多様な用法やニュアンスを表現するためには不十分だから。

問題 17 空所（キ）に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① だが
- ② あるいは
- ③ もし
- ④ ことに
- ⑤ ところで

問題 18 傍線部（ク）「辞書的客観性」とあるが、それはどのようなことであるか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 辞書の執筆者が自身の主観や個人的な意見を排除し、事実や一般的な学説に基づいて記述を行うこと。
- ② 辞書の項目が特定の思想や哲学に基づいて選ばれ、その内容も執筆者の主観的な見解を反映していること。
- ③ 辞書の内容が特定の学派や思想に加え、広く一般的な知識や学説を基にしていること。
- ④ 辞書の執筆者が各項目に署名し、執筆者の個人的な見解を明示すること。
- ⑤ 辞書の内容が科学的な方法やデータに基づいて記述され、客観性が保証されていること。

問題 19 本文の内容と合致するものとして最も適当なものを一つ選択せよ。

- ① 筆者は、ヴォルテールの『哲学辞書』を読んだことがきっかけで、辞書に対する従来の考え方の正当性を深めた。
- ② 筆者は、現代の辞書は客観性を追求するあまり、内容が深みを失い、個性が乏しくなっていると考えている。
- ③ 筆者は、辞書の正確性について、自分に関することに関しては信頼できると考えている。
- ④ 筆者は、社会科学や哲学の分野においては、辞書の客観性を確立することは容易であると考えている。
- ⑤ 筆者は、多数の執筆者によって編纂される辞書は、内容の統一性が保たれやすく、質の高いものになると考えている。

